

# 八戸市史だより

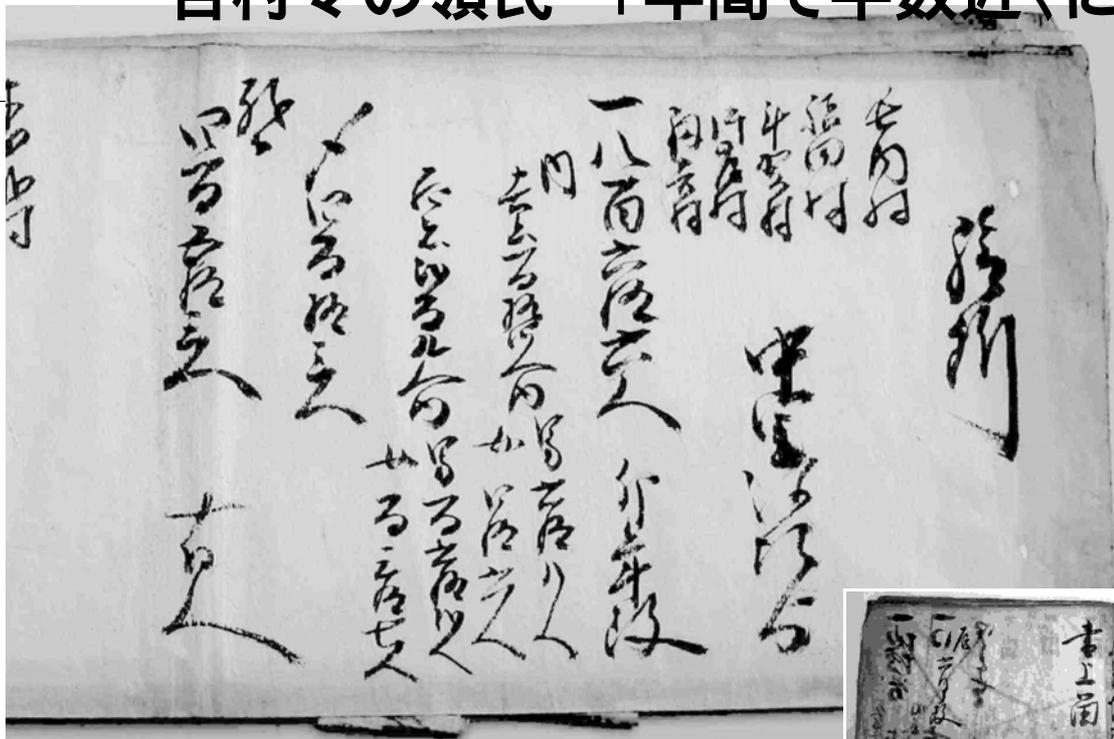
第4号

発行日 平成15年5月29日

八戸市史編纂室

もくじ 部会短信 原始・古代・中世部会...2 近世部会...2 近・現代部会...2 自然・民俗・文化財部会...3  
刊行物のご案内...3 資料寄贈者...4 平成14年度収集・整理資料一覧...4

## 発見！天明の大飢饉 八戸藩内の被害数 各村々の領民 1年間で半数近くに激減



「御領内人別増減書上留」天明4年(須藤家文書)



天明3年(1783)の大飢饉は八戸藩の全時代を通して未曾有の被害をもたらしました。そのすさまじさは、人肉を食したといわれるほどでした。

天明大飢饉については、飢饉書や聞き書きなどにその惨状が記されていますが、餓死者などの数値の正確な記録となると、八戸藩日記など数えるほどしか残されておりません。しかし、市史編纂室の寄託資料の須藤家文書から重要な記録が見つかりました。それは天明4年6月改め「御領内人別増減書上留」という表題の横綴じの帳面です。

八戸藩領内の各代官所と各藩士の給所(藩から与えられた領地)ごとに、天明3年の人口数・餓死者数・離散者数を書き上げ、天明4年現在での人口数も書いてあります。注目されるのは、給所の被害数が克明に

記録されていることです。藩全体の被害の記録は従来もありましたが、藩士が支配していた個々の村の被害の様子が分かるのは初めてです。天明3年総人口は6万3千人余、それが3万人余の餓死・離散を数えたため、4年には3万4千人余となりました。このうち給所は2万人余から1万人余となっております。いずれも半分近くに激減するという惨事です。

家老職の家柄であった中里弥次右衛門と中里清右衛門を見ると、弥次右衛門領は866人から餓死者299人(史料は209人と誤記)などを差し引いて453人、清右衛門領は719人から餓死者118人などを引いて555人となっております。前者は48%、後者は23%の減少で、弥次右衛門領の被害人数が目立ちます。同じ藩士でも被害が異なっています。

## 部 会 短 信

## 原始・古代・中世部会

平成14年度は、市外にある八戸市出土遺物調査と市内の中世城館跡調査を実施しました。

城館跡調査では、昨年度に行なった現状調査と、高



新田城の試掘調査

知大学の市村高男教授に作成していただいた縄張り図を基に、文化課によって新田城の試掘調査が行なわれました。城の周辺北側から東側にかけて6ヶ所を試掘し、堀跡は無いことが確認されました。

出土遺物調査は、青森市にある県埋蔵文化財調査センターに行き、牛ヶ沢(3)・沢堀込・岩沢平の遺物を借用し八戸で写真撮影する作業を11月に行ないました。

15年度は、引き続き新田城の試掘調査と、市外にある出土遺物調査を予定しています。また、16年度からの資料編執筆に向けて、掲載資料の選択と、資料編の構成目次案の作成を行なっています。

## 近世部会

平成14年度は、例年の資料収集と整理に加え、16年度からの資料編刊行に向けての準備が進められました。まず、資料編の構成目次案を部会と編集委員会で詰め、そして市立図書館、市史編纂室に収集された資料の総点検を行い、掲載する資料の選択作業を、文書ごと委員に割り当てて行ないました。

農村調査は市内の市川、是川地区をあたりました。また市外では、盛岡市の中央公民館と県立図書館所蔵



麗澤大学での調査

の八戸関係の文書、絵図などを調査しました。さらに、八戸藩と取引のあった商人・田端屋の文書を所蔵先の麗澤大学(千葉県柏市)で調査し、同じく伊勢屋竹口家の調査を三重県松阪市で行ないました。

15年度には執筆委員を選定して、いよいよ執筆作業を開始

します。それに伴い研究員を増やし、執筆委員を委嘱して、執筆に向けての体制を整えます。

## 近・現代部会

近・現代部会では八戸市内外において明治から高度経済成長期までの様々な資料の収集に努めています。平成14年度は東京都において逓信総合博物館、防衛庁防衛研究所が所蔵する八戸関係資料を調査しました。調査した資料には、明治期から大正期にかけての鉄道及び通信に関する記述が含まれており、今後の研究結果が待たれます。さらに、岩手県庁所蔵の資料と、函館税関所蔵の資料を調査しました。

15年度は資料編第1巻の掲載資料の選定を行ないます。また資料調査も、引き続き行なう予定です。



函館税関の調査

## 自然・民俗・文化財部会

自然班による地質調査

### 自然

地質サンプル資料による調査や動植物・昆虫等の生息調査を行いました。また、市民を対象にした調査成果の発表会を開催しました。15年度は16年度の「自然編」の刊行に向けた執筆と3回目となる発表会を予定しています。

### 民俗

漁業地区である鮫・湊地区の聞き取り調査を行いました。また、市内各地区に古くからある石碑の所在調査を行



い、13・14年度の2ヶ年で全地区の調査を終了しました。15年度は是川・館・田面木地区の聞き取り調査を予定しています。

### 文化財

現地調査の前段階として、指定文化財及び旧家調査リストから調査対象の選出を行っています。神社仏閣から庶民の住居、また美術工芸品などの調査を予定しています。

## 刊行物のご案内

### はちのへ市史研究

八戸市史編纂室では、平成14年度より、定期刊行物として『はちのへ市史研究』を発行しました。

本誌では、市史編集委員会の各専門部会の委員によっておこなわれた各種の調査や、資料を吟味して得た成果などが、論文・レポート・研究余録・史料紹介・部会の活動報告等のかたちで、いち早く発表されます。

また、郷土八戸の歴史や文化、自然環



境について、地域の新たな研究者を育成し、市民の皆さまとの活発な意見交換や、相互交流を促進する場ともなります。

本誌において、こうした日頃の地道な調査活動や研究成果が蓄積されることにより、市史全体の学術的な水準を高める推進力となることが期待されます。

B5判・122ページ

### 八戸の歴史双書

八戸の歴史双書は「八戸市史」の本編とは別の趣旨で刊行するシリーズです。

一つは断片的に取り上げたのでは、資料価値が生きてこないものを資料集としてまとめた「復刻シリーズ」です。もう一つは個別のテーマを分かりやすくまとめた「読み物シリーズ」です。

平成14年度は、「復刻シリーズ」として『明治・大正の八戸市街図と三戸郡誌』、「読み物シリーズ」として『八戸の女性史』を刊行しました。



A5判・475ページ  
販売価格(税込) 2,700円

八戸の歴史双書 復刻シリーズ  
明治・大正の  
八戸市街図と三戸郡誌

明治・大正の八戸市街図と、明治初期の三戸郡地誌を復刻した貴重な書籍です。八戸の町並みを絵入りで載せた市街図は、近代を迎えた八戸の様子を見事に伝えており、三戸郡誌には、明治初期の三戸郡について詳細に記載されています。



B6判・206ページ  
販売価格(税込) 1,300円

八戸の歴史双書 読み物シリーズ  
八戸の女性史

元八戸大学教授の島守光雄さんが書き下ろした書籍です。女性の人権と男女の平等が確立される軌跡と、その過程で並々ならぬ努力をほらい、逆境の中で自らの進路を開拓してきた八戸の女性たちの歩みを、わかりやすく紹介しています。

#### 八戸の歴史双書

...在庫無し

#### 復刻シリーズ

「八戸南部史稿」 平成11年12月発行  
「八戸藩士 系譜書上」 平成13年2月発行  
「八戸の神社寺院由来集」平成14年3月発行

#### 読み物シリーズ

「八戸藩の歴史」 工藤 祐董 著 平成11年12月発行  
「八戸の民俗芸能」阿部 達 著 平成13年2月発行  
「八戸の安藤昌益」稲葉 克夫 著 平成14年3月発行

## 資料寄贈者

平成10年度に市史編纂室が発足して、早3年が経ちました。これまで多くの方々に貴重な資料を寄贈していただきました。

平成14年度に資料を寄贈してくださったのは次の方々です。

石橋 弘 さん  
上野 末蔵 さん  
及川 恒武 さん  
熊谷 隆次 さん  
鈴木 啓司 さん  
田名部 清一 さん  
藤田 美智子 さん  
松倉 光輝 さん  
吉田 喜代治 さん  
(以上 50音順)

どうもありがとうございます。

資料は大切に保管し、今後の活動に生かしていきたいと思っております。

## お宝募集

編纂室では、江戸時代の手紙や書付などの古文書類をはじめ、明治時代以降の文書や写真類といったごく一般的な資料も収集しています。お宅に、そのような眠っている資料がありましたら、どんなものでも結構です。ご連絡をお待ちしています。

## 平成14年度 収集・整理資料一覧

	文書・資料名	資料内容	数量	備考
1	田名部清一氏所蔵資料	藩政期書状類	1	寄贈
2	熊谷隆次氏所蔵資料	藩政期書状類	3	寄贈
3	松田登美家文書(八幡)	藩政期書状類	3	
4	藤田家文書(下長)	八戸南部史稿関係資料	12	寄贈
5	陸奥工業(株)所蔵資料	地図類	16	
6	防衛庁防衛研究所所蔵資料	戦時中関係資料	23	
7	中里進氏所蔵文書	八戸青年会関係資料	23	
8	藩政期証書類(購入)	藩政期書状類	29	
9	寺地家文書(岬台)	藩政期証書類	30	
10	逓信総合博物館所蔵資料	明治期通信関係資料	46	
11	岩泉家文書(小中野)	明治期手紙類など	60	
12	亀岡家文書(石堂)	明治期帳簿類	73	
13	堀内家文書(南部町)	三戸郡関係資料	83	
14	盛岡市中央公民館所蔵資料	藩政期書状類・絵図類	119	
15	音喜多家文書(小中野)	藩政期書状類	120	
16	是川家文書(是川)	神社関係資料	123	
17	村上家文書(購入)	藩政期書状類	140	
18	岩手県立図書館所蔵	藩政期書状類	142	
19	鈴木家文書(河原木)	藩政期書状類	156	一部寄贈
20	南郷村民俗資料館所蔵資料	刊本類など	165	
21	松倉家文書(八幡)	刊本類など	170	寄贈
22	上野末蔵氏所蔵資料	近代銀行関係資料など	180	寄贈
23	本田敏雄氏所蔵資料	畜産組合関係資料	222	
24	吉田喜代治氏所蔵資料	藩政期書状類	232	寄贈
25	及川家文書(類家)	藩政期書状類	1,112	一部寄贈
26	村上家文書(南郷村島守)	藩政期書状類	1,500	南部町教育委員会所蔵資料
27	函館税関所蔵資料	港湾関係資料	約300	
28	石橋弘氏所蔵資料	帳簿類	約50	一部寄託
		14年度収集・整理資料点数	約5,133点	
		10～13年度収集・整理資料点数	約35,082点	
		合計	約40,215点	

# 八戸市史だより

第4号

発行・編集 八戸市史編纂室

〒031-0031 青森県八戸市大字糠塚下道2-1 八戸市立図書館内

電話・FAX 0178(73)3234

E-mail shishi@city.hachinohe.aomori.jp